令和４年度　自己評価書・学校関係評価書

令和５年3月７日

真庭市立久世こども園

１．久世こども園の教育保育目標

　〈教育保育目標〉

　　　心も体も健康でたくましく、活き活きと活動する園児を目指して

　〈目指す子ども像〉

　　　○健康で明るい子ども ○友達と仲良く遊ぶ子ども

　　　○自分のことは自分でする子ども ○豊かな心情をもち考える子ども

　　　○自分の考えを発表できる子ども

２．本年度の重点目標（課題）

　（１）人と関わることを大切にして、思いやりの気持ちや言葉で伝え合う力を育てる。

　　　・「話したい」「伝えたい」と思えるような環境構成の工夫をする。

　　　・一人一人の話をしっかりと受け止め、話したくなる気持ちや聞いてもらう満足感が味わえるよ

うにする。

　（２）心や体を動かして遊べる環境の工夫に努め、自分で粘り強く取り組む力を育てる。

　　　・体を動かして遊ぶ楽しさを味わえる環境構成の工夫をする。

　　　・自然環境に関わる機会を大切にする。

　（３）家庭との連携を深めながら、生活習慣の定着を図り、心身共に健康で安全に生活しようとする

態度を育てる。

　　　・園児や保護者の気持ちに寄り添いながら、丁寧な対応を心掛ける。

　　　・「ちゃれんじカード」の活用。

３．園評価の個別評価

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価指標 | 考　 　察 | 園総合評価 | 評価委員評価　　　　（学校評議員評価） |
| 教育保育課程指導計画 | 教育保育課程に基づき、年齢や個々の発達段階を把握し、指導計画の立案を行ってきた。園児の育ちや教育保育の振り返りを大切にしてきた。 | 3 | ４ |
| 行事 | 今年度もコロナ禍ではあったが、園児の経験の幅が損なわれないように職員間で協議を重ねながら、園行事の在り方を探り、園児主体の行事となるよう取り組んできた。 | 3 | ４ |
| 組織・運営 | 責任をもって、担当業務に取り組むことができた。全職員が運営に携わる意識を更に高め、共通理解しながら進めていきたい。 | 3 | 3 |
| 学級経営 | 園児一人一人の気持ちに寄り添うことを大切に援助を心掛けてきた。担任だけでなく、全職員で連携を深め、共通理解して全園児を支える体制を整えていきたい。 | 3 | ４ |
| 特別支援教育 | 外部関係機関との連携しながら、取り組んできた。園児の困り感や保護者の思いを丁寧にくみ取り、援助に努めてきた。また「共通支援シート」を活用し、園児の育ちにつながる援助や引継となるよう取り組んできた。 | ３ | ４ |
| 安全管理保健指導 | 園舎内外の安全点検を定期的に行い、安全管理に努めてきた。感染予防に関しても、基本的なことを徹底し行ってきた。 | 3 | 3 |
| 研修（資質向上） | 全職員、研修会に参加することができた。また研修会の復命を行い、資質向上に努めた。園内研も短時間だが定期的に行ってきた。 | 3 | ４ |
| 情報提供保護者･地域との連携 | 行事や園児の様子を掲示板に写真で掲示したり、12月から導入されたアプリを活用して、動画など配信し、保護者への情報共有に努めてきた。地域との連携に関しては、コロナ禍でもあり、実施に至っていない。 | 3 | 3 |
| 小学校との接続･連携 | 年間を通じて協議の場を設定し、計画的に行ってきた。また交流会については、１･５年生との交流会を実施することができた。 | 3 | 3 |
| 子育て支援 | 保護者が相談しやすい雰囲気作りに努め、登降園時には、保護者の思いに寄り添った支援を行ってきた。 | 3 | 3 |
| 食育の推進（給食） | 年齢に合わせた食育指導を行ってきた。栽培活動も真庭高校と連携し、交流会を含めた活動となった。今後も続けていきたい。 | 3 | ４ |
| 食事の提供（調理） | 学校給食と連携し、安心安全な給食提供に努めてきた。3歳児には、箸セットを持参してもらったり、食材が大きいときには、はさみで切ったりしながら、年齢に合った提供となるよう努めた。 | 3 | 3 |

４．本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

○教育保育目標･重点課題･研究テーマから、園全体で取り組んでいることが覗える。職員間の共通理解ができているから、園児は伸び伸びと生活することができている。「園児のいいところを先生が受け入れてくれている。」そのことが育ちにつながっている。

○コロナ渦ではあったが、PTA運営委員会の中で協議をしながら、進めることができた。充実した園生活になったと思う。

○配慮を必要とする園児については、個々の発達段階や特性を見取り、丁寧な対応がされている。保護者アンケートの中に「園と関係機関との連携を深めてほしい。」との意見があったので、今後の課題である。

○小学校との接続･連携については、計画的に交流会や情報共有をされているので、今後も引き続き続けてほしい。また地域との交流についても検討し、進めてほしい。いつでも協力する。

○情報共有について、ICTを活用し情報の発信ができている。更に分かりやすい提供方法について工夫してほしい。

○久世こども園らしさが引き継がれていることが嬉しい。園児も保護者も安心安全に預けられる園であってほしい。

６.　評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

○園の教育保育について

　　職員間で教育保育課程･研究テーマを共通理解し、各担任を中心に園児の発達段階を捉え、園児一人一人に寄り添うことを大切に援助を心掛けていきたい。職員間の連携を深め、共通理解してより丁寧な援助ができるように努めていきたい。

○各関係機関との連携について

　　保護者の方、専門機関や小学校･地域の方それぞれの力を借りながら、園児のよりよい育ちや経験の場となるように連携を深めていきたい。またそれぞれの引継がスムーズに行われるよう、情報共有の場を設定していきたい。

○情報提供について

　　ICTを活用すると共に掲示板の有効活用も引き続き行い、日々の生活や園児の様子を分かりやすく発信していきたい。またそのことにより、子育てへの関心や意欲･不安解消となるよう工夫していきたい。

○安心安全な園づくりについて

　　安全な環境を整える事を第一に考え、取り組んでいきたい。遊具については、担当課と協議しながら、進めていきたい。常に危機管理意識をもち、教育保育に努めていきたい。

学校評議員・園評価基準

|  |  |
| --- | --- |
| 評　価 | 基　　準 |
| ４ | ８０％以上の達成度 | 十分達成されている |
| ３ | ６０％以上８０％未満の達成度 | 概ね達成されている |
| ２ | ４０％以上６０％未満の達成度 | 取り組まれているが、成果が十分でない |
| １ | ４０％未満の達成度 | 取り組みが不十分である |